

別紙 1

1. 審査項目、審査基準及び配点

審査項目	審査基準	一次審査 配点	二次審査 配点
1. 企画内容	過年度までの検討を踏まえ道の駅及び川の駅の建築施設の概略設計を行い、概算事業費を適正に算出することができるか。 また、市にとって最適な実施方針（案）及び要求水準書（案）を作成することができるか。さらに、この内容についての市場調査の実施、得られた意見等の反映、実施した市場調査結果についての分析を行い、適切に事業スキームを整理することができるか。	10 点	20 点
	実施方針に関する説明会の開催支援、質問回答書の作成支援を行い、必要に応じて実施方針を修正し、特定事業の選定及び事業者の募集等に意見・質問回答を的確に反映させることができるか。	5 点	10 点
	PSC 算定、PFI 方式及び DBO 方式で実施する場合の LCC 算定結果をもとに事業期間全体を通じた市の財政負担額の低減を明らかにし、VFM の定量的評価・定性的評価を適正に行うことができるか。 要求水準書、入札説明書、様式集、落札者決定基準、基本協定書（案）、事業契約書（案）の作成及び公表を遺漏なく行うことができるか。 また、想定される法務上の措置や交付金等の財政的な措置を得るために必要な事項について最適な支援を行うことができるか。	10 点	20 点
2. 実施体制 及び業務工程	スムーズな業務推進が可能な体制か。 業務遂行に十分な体制（営業職以外の専属スタッフの配置等）を確保し、発注者との連絡調整、迅速な対応が可能であるか。 実施スケジュールは現実的かつ実行可能なものとなっているか。	5 点	—
3. 業務実績	十分な知見を保有しているか。 過去に同様の業務又は類似の実績があり、良好な実績を挙げているか。 発注者の要請に応じることができるノウハウを有しているか。	5 点	—
4. 見積価格	業務の内容に見合った適正なものであるか。	5 点	—
5. 業務の理解度 及び的確性	総合的に本業務の目的及び内容等について理解度が高く業務実施の方向性が的確かどうか。また、業務の実現性が高く、具体性のある提案になっているか。	—	10 点
小計		40 点	60 点
合計			100 点

※配点は、選定委員一人あたり

2. 採点の考え方

(1) 一次審査

各選定委員は、審査項目ごとに 10 点又は 5 点以下の点数を付す。

(2) 二次審査

各選定委員は、審査項目ごとに 20 点又は 10 点以下の点数を付す。